

(別紙6)

平成27年7月13日公表

審議会等会議録

会議名	富良野市下水道事業運営審議会(平成27年度第1回)
開催日時	平成27年7月7日(火) 午前10時00分から11時45分
開催場所	富良野市役所3階 第三会議室
出席者等	<委員>山田明、小野寺尚武、年代哲也、糠谷諭、石田幸子、高橋壽恵、河原由紀子、三瀬博之、小玉将臣、高田義博(計10名) (欠席者:谷岡和幸、吉田末子 2名) <事務局> 外崎番三、吉田育夫、北川善人、西尾善行、中島禎、
公開・非公開の別	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 一部公開 <input type="checkbox"/> 非公開 <一部公開又は非公開の理由>
傍聴の可否	<input checked="" type="checkbox"/> 可 <input type="checkbox"/> 不可
傍聴の人数	0人
議事録の作成方法	<input type="checkbox"/> 全文筆記 <input checked="" type="checkbox"/> 要点筆記 <input type="checkbox"/> 録音テープ
会議の内容	1. 辞令交付    2. 市長あいさつ    3. 委員、事務局の紹介 4. 議事 報告事項 報告1 平成26年度事業実施状況    報告2 平成26年度決算状況 報告3 平成27年度事業実施予定    報告4 平成27年度予算について
会議資料	報告1 平成26年度事業実施状況    報告2 平成26年度決算状況 報告3 平成27年度事業実施予定    報告4 平成27年度予算について
その他特記事項	なし
問合せ先	建設水道部上下水道課 電話番号 0167-39-2317

市のホームページへの掲載(掲載日 7月13日)

行政情報コーナー供覧 (供覧日 \_\_\_月\_\_\_日)

## [平成27年度第1回 富良野市下水道事業運営審議会 議事録]

○吉田上下水道課長の進行で開会

○委員に市長から辞令交付

○市長あいさつ

農作物については若干の遅れが出ているようだが、これからの挽回は可能である。観光面においては中国からの直行便の就航などアジア圏域からの道北への流入が見込まれる。

下水道の拡張は考えていない。今後施設等の老朽化に伴う維持管理費が増大することが懸念される。対策については審議会をはじめとする市民の意見を聞きながら対処していきたい。観光地である富良野市にとって水を取り巻く環境の保全は必要不可欠であり、そのためには下水道の維持は無くしてはならないものである。維持補修等の費用増大の対処や、消費税増税に伴う使用料の改定について今後ご審議を頂きたい。

(市長公務により退席)

○委員、事務局の自己紹介

○審議会開催の成否

本審議会は過半数の委員が出席していることから条例第6条第2項の規定により審議会を開催できる旨を報告

○役員選任

審議委員の改選年であるため、会長、副会長の選任を行う。

会長には小玉氏を副会長には山田氏を選任

○議事進行 小玉会長が議長となり議事進行。

○議事

報告1 平成26年度事業実施状況 (中島係長)

資料の基づき平成26年度に行った下水道事業について説明。

(委員質問等 なし。)

報告2 平成26年度決算状況 (北川主幹)

資料に基づき平成26年度の下水事業の決算状況について説明。

質問1

下水道における有収率の算出方法はどのようなものか。

#### 回答 1

料金化している水量（水道メータで積算したもの+地下水としての認定水量）を水処理センターで実際に処理した水量で除している。水処理センターで処理した水量が多くなっているのはマンホールや汚水管のひび等から雨水や地下水が流入しているためである。

#### 質問 2

未収金の対処について

#### 回答 2

未収金については、払えるのに払わない利用者に対してその徴収を強化している。具体的には、3か月間支払い及び連絡がない場合については、給水を停止する処置をとっている。また、時効成立を防止するために誓約書の徴取を行っている。

#### 質問 3

不能欠損の内容は

#### 回答 3

未収金の内、居所不明である者、債権者が死亡し相続関係が不明確なものについて行なっている。

#### 質問 4

汚泥処理の八幡丘、西達布の割合は

#### 回答 4

平成 26 年度においては八幡丘 1000 t、西達布 800 t となっている。

#### 報告 3 平成 27 年度事業実施予定について（中島係長）

資料に基づき、平成 27 年度に予定している事業の実施予定を説明  
（委員質問等 なし。）

#### 報告 4 平成 27 年度予算について（北川主幹）

資料に基づき、平成 27 年度予算について説明

#### 質問 5

この審議会の目的はなにか

#### 回答 5

下水道事業における事業、会計関係を掌握して頂いた上で、下水道事業の健全運営についてご審議いただく場であります。経費の増大等により一般会計からの繰入金が増え、今後増えていくことが予想されます。このような状況で、受益者負担の原則に照らして使用料の増額を行うかどうかなどのご審議をお願いすることになる。

また、下水道事業の状況や未収金の対処方法等について市民の皆様に啓蒙する必要があることから広報等を通じてそれらの啓蒙を行っていく。

#### 質問 6

下水道施設における老朽化、耐震対策はどうなっているのか

#### 回答 6

施設の老朽化、耐震化対策については、平成 25 年度から 26 年度で行った長寿命化計画に盛り込まれているところであり、今年度より実施していく予定である。管路については供用開始から 30 年が経過していない状況であるため、今後施設と同じような計画を策定し、計画的に対処していくつもりである。

諮問事項が無いため、審議については省略

その他 次回開催について

次期開催については、喫緊の諮問事項がないため平成 28 年 7 月中旬ころとしたい。

委員全員了解

閉会